

**狩猟免許を取ろう**

令和3年度狩猟免許試験 狩猟免許は20歳以上(網が鹿児島県内で実施されま 猟・わな猟は18歳以上)で受す。これに伴い毎回、事前講習会(通称:初心者講習会)が 得られるかたは初心者講習会を必ず受講しましょう。があり、実技実習や鳥獣識別などが実施されます。



**試験合格者の長谷川一総さんが狩猟免許を解説**

実技では「これを失敗すると一発でアウト」というポイントをふまえた説明が受けられます。私が初心者講習会に参加して良かった点は、分からないところは一人ずつ銃の取り扱いやわなの仕組みなどを納得いくまで聞くことができたところです。

実習は地元の猟友会から講師が派遣されていることが多いのですが、鹿児島弁がなかなか聞き取れず、何度も聞きなおしてしまいました。それでも明るく気さくに答えてくださったので、「鹿児島のかたは優しいなあ」と感じました。

試験の話に戻ると、知識分野の試験は三択からの選択式でいずれか一種類を受験するとした時、合計30問、時間は90分です。

狩猟免許試験の申し込み後に、「狩猟読本」と「狩猟免許試験例題集」が無料で配布されるので、これで勉強すると試験範囲は全てカバーできます。

試験は共通試験(法令や鳥獣知識)とそれぞれ受験する猟具に関する試験があります。私は第二種銃とわなの免許を受けたので、それぞれ試験勉強が必要でしたが、共通試験である法令に関する設問が難しく大変でした。

長島町では令和3年現在、猟友会メンバーは長島猟友会と東猟友会を合計して53人で、平均年齢は60.4歳で、20代から40代までのかたはわずか9人しかいません。一番多い60代のかたがたが引退してしまうと、猟師の人数は現在の三分の一ほどになってしまいます。

新規に免許を取得したかた向けの補助金や、猟友会による初心者向けの講習などもあります。興味があるかたはぜひ狩猟免許を取得してみてくださいいかがでしょうか。



**ブリのワクチン接種を見学**

早朝の宮ノ浦漁港で、ブリのワクチン接種を見学しました。麻酔でスヤスヤ眠っているブリの腹ビレ間の腹腔内へ注射を打ち込み、いけすに戻す作業を4時間ほどかけて行い、約2万6千尾のブリがワクチンを接種しました。ブリのワクチンが導入されたのは20年前で、接種が普及したことにより生存率は97〜98%に上がりました。それまでは半数

**新見春奈さんが町内の日々を紹介**



町の話提供先  
 役場地方創生課  
 ☎(86)1101[直通]

**ふるさと納税特集が始まりました**

長島町公式インスタグラムで、ふるさと納税の事業者紹介特集が始まりました。こちらは、ふるさと納税担当の職員のかたがたに投稿をお願いしています。

事業者さんの素敵な笑顔があふれる投稿、要チェックです！インスタグラムと一緒に運用していく

ふるさと納税の特集が始まりました。ゆるゆりの更新ですが、これからも楽しんでいただけるつもりです。町民の皆さんからのコメントも随時募集しております。ぜひ、ご連絡ください！

**出水市協力隊の活動を視察・協力しました**

6月13日、協力隊の江副佑輔さん、新見春奈さん、大東勝行さんが出水市の協力隊・山川温子さんの活動を視察しました。視察では、同市本町の交流拠点を目指す空き店舗の改修作業を手伝いました。

当日はボランティアで集まった同市役所の職員や伊佐市の協力隊らと協力し、リノベーションで使用する建材を運搬するなど、空き家改修の現場を体験しました。

町の空き家改修を担当する協力隊の大東さんは、今後、カフェスペースとなる店舗内を視察し、「活動を見てとても参考になり、勉強になりました」と話しました。

